

# 福生市議会だより

## FUSSA

No. 109

発行 福生市議会  
平成7年7月15日  
〒197 福生市本町5番地  
☎0425(51)1511(代表)

平成7年  
第2回定例会



梅雨の合間に散策を楽しむ — 中福生公園で —

ごみ減量や資源再利用のために

### 「リサイクルセンター」 建設工事請負契約」など 議案四八件を同意・可決

平成七年第二回定例会が、六月七日から二〇日までの一四日間の会期で行われました。今回の定例会では十人の議員が一般質問を行い、「福生市行政改革推進委員会条例」を初めとする議案四八件、「五日市街道、多摩川堤の曲がり角（南田園三丁目一六番地付近）への小公園建設を求める陳情書」など、陳情八件の審議が行われました。

#### 本会議の経過

第一日目（七日）は五人の議員が一般質問を行いました。第二日目（八日）は五人の議員が一般質問を行いました。第三日目（九日）は、新

に議案四件と、陳情二件が提出され、「福生市の一般職の職員の平成七年六月期期末手当の支給割合を定める条例」を可決し、また、「自治功労表彰・一般表彰・教育委員の任命について」の三四議案に同意して、一三議案と陳情八件を各委員会に付託しました。

第四日目（一〇日）は「陳情書の取り下げ願いについて」の一件を承認した後、各委員会に付託していた一三議案の審査報告が行われ、いずれも可決・同意されました。この中で、「福生市行政改革推進委員会条例」「福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」については、可決された旨の委員長報告に対し賛成と反対の討論が行われ起立採決の結果、報告のとおり可決され、今定例会を終りました。

#### 定例会の日程

5月31日	議会運営委員会
6月7日	会期の決定
8日	一般質問
9日	議案審議
12日	厚生委員会
13日	建設委員会
14日	総務委員会
16日	議会運営委員会
20日	委員会審査報告等

#### 主な内容

可決等された議案・討論……………2面  
一般質問……………3～5面  
委員会の審査・活動、陳情……………6面

### 政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止

◆有権者が政治家に対し、寄附の勧誘や要求をすることは禁止されています。また、政治家をおどしてあるいは政治家の当選又は被選挙権を失わせる目的で寄附の勧誘や要求をすることを罰せられます。  
◆後援団体が花輪、供花、香典、祝儀などを出したりすることは、その時期を問わず処罰されます。



◆政治家（候補者、候補者となろうとする人及び現に公職にある人）は選挙区内にある人に対し寄附をすることは次のものを除き、いかなる名義でも処罰されます。  
①政党や親族に対するもの及び政治教育集会に関する必要やむを得ない実費の補償②政治家本人が自ら出席する結婚披露宴の祝儀、葬式や通夜の香典

#### 議員表彰

関東市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。

平成7年度においては、次の方々が表彰されました。

(議席順)

松山 清	原 敏子	東田 正治	指田 保雄
------	------	-------	-------

議員二〇年以上  
(前議員)

# 可決された議案

今定例会に提出された議案は四八件で、いずれも原案のとおり可決等されました。可決等された議案とその要旨は次のとおりです。

◆福生市職員の育児休業等に関する条例の改正  
地方公務員等共済組合法の改正により、職員に対する育児休業手当金制度が創設されたことにより、本条例の育児休業給支給の制度が廃止されました。

◆福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
福生市行政改革推進委員会を設置することにより、同委員の報酬の額を定めるもの。

◆福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
法律の一部改正に伴い、結核医療及び精神医療の公費負担の見直しが行われたことにより、新たに結核・精神医療給付金制度を設けるもの。

◆福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
福生市の一般職の職員の平成七年六月期期末手当の支給割合を定めるもの。

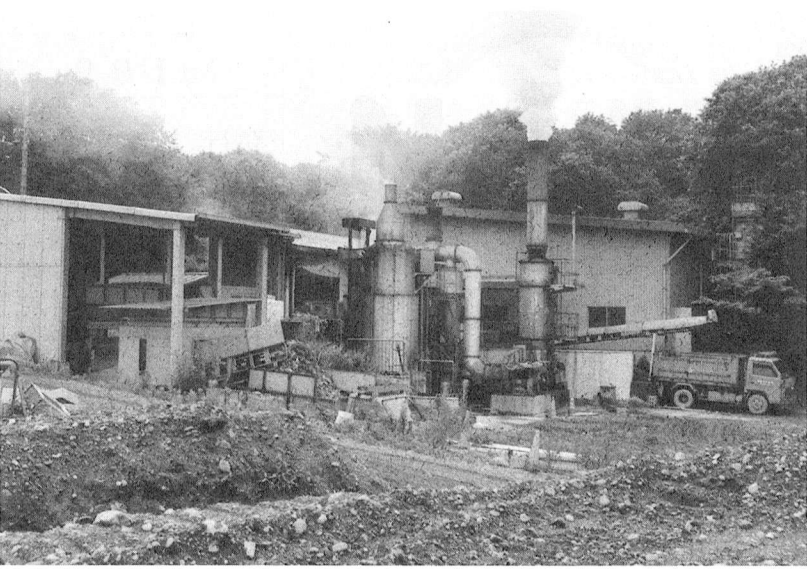
◆福生市市道として管理する必要があるため、道路法第八条の規定に基づき、市道路線(武蔵野台五七号線、武蔵野台五八号線、三二四号線)を認定するもの。

◆市道路線の廃止について  
市道として管理する必要がなくなったため、道路法第一〇条第一項の規定に基づき、市道路線(武蔵野台三二号線の全部、武蔵野台三三号線の一部)を廃止するもの。

◆福生市教育委員会委員の任命について  
前原照美氏を福生市教育委員会委員に選任したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求めもの。

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

歳出では一般会計繰越金の増額が主なもの。  
◆リサイクルセンター建設工事請負契約  
リサイクルセンター建設工事を実施するための契約同意を求めもの。  
◆中央排水区H-17その二工事請負契約  
牛浜橋から下の川付近までの間の雨水管を埋設するための契約を求めもの。  
◆福生市表彰条例に基づく自治功労表彰(二一件)  
自治功労表彰該当者について議会の同意を求めもの。  
◆福生市表彰条例に基づく一般表彰(二二件)  
一般表彰該当者について議会の同意を求めもの。  
◆市道路線の認定について  
新たに市道として管理する必要があるため、道路法第八条の規定に基づき、市道路線(武蔵野台五七号線、武蔵野台五八号線、三二四号線)を認定するもの。  
◆市道路線の廃止について  
市道として管理する必要がなくなったため、道路法第一〇条第一項の規定に基づき、市道路線(武蔵野台三二号線の全部、武蔵野台三三号線の一部)を廃止するもの。  
◆福生市教育委員会委員の任命について  
前原照美氏を福生市教育委員会委員に選任したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求めもの。



▲老朽化等により建て替えられるリサイクルセンター

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

◆平成七年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)  
歳入歳出の総額に二〇三万四千二百円を追加し二億五千万二千円とするもので、歳入では前年度繰越金の増額

## 討論

福生市行政改革推進委員会条例は賛成多数で可決されました

採決にあたり次の賛成、反対の討論(要旨)が行われました。

### 賛成討論

我が国の社会・経済情勢は長引く景気低迷の中、大変厳しい状況にある。このことは市政運営にも大きな影響を与えているものと思う。

しかしながら、二一世紀を間近に控え、高齢化・情報化・国際化、あるいは地方分権など行政の抱える課題は数多くあり、これらに対する取り組みについても市民の期待するところは大きく変大いと思ふ。

限られた財源の中でこれらの期待にこたえるためには、現在の行財政全般にわたる見直しを行い、健全な市政運営を確立する必要がある。

市民の期待にこたえられる行政運営を進めるためにも行政改革は必要なことであり、福生市行政改革推進委員会をすみやかに設置し、活動されることを望み本案に賛成する。

昭和六〇年に同趣旨の審議会が設置され、福生市行政改革大綱が昭和六二年三月に策定された。昭和六三年から行革大綱を具体的に進め、使用料・手数料などの見直し、財源の確保と称しての保育料・

下水道料・国民健康保険税を中心とした料金の値上げ、また職員数の抑制や給与の見直しなどによる市職員へのしわ寄せをされてきた。その一方で、市の積立金だけは当時の三七億円から三倍増の一〇〇億円を超す積立金となってきた。

今回の条例は、一〇年前と同様に財政運営・行政運営・管理運営に関するものとしており、基本的なねらいは変わらぬものである。しかも国は、国の政策遂行のために地方自治体を巻き込んで行革を推進しようとしており、結局、住民負担の強化とサービスの低下・職員の定員管理の強化と給与の抑制をもたらす、ひねり出した財源を開発や大規模施設建設に大きく振り向けていくことになる本案には反対する。

### 反対討論

本条例改正は地方税法の改正により国民健康保険税の軽減制度について、二割軽減を新たに設けるもので、被保険者にとって負担が少なくなる制度のように見えるが、この条例改正の目的は、税の賦課の応能、応益の割合を五〇%、五〇%に近づけていくための改悪法である。

本市は応能の割合は七五%、応益の割合は二五%だが、法改正は応益割合を四五%以上、五五%未満とすると二割軽減が新設できるというもので、応益分の税額を増やすこととなる。本市の国保の被保険者の三〇・五%は無職であり、この法改正は被保険者の方々にも多大な負担を強いることになると同時に、これまで以上に税の滞納者が増加させていくものである。

今後二年間は現状のままいくとしても、二年経過後も応益割合をふやすことなく、被保険者の命と暮らしを守るため、最善の努力を払われることと、政府に対し、国保の健全運営のため国庫負担金増の運動を推し進められるよう意見を申し述べ、本案に反対する。

採決にあたり次の賛成、反対の討論(要旨)が行われました。

### 賛成討論

独立採算を原則としている国民健康保険を円滑に運営するために保険税は貴重な財源である。

負担の公平の原則から、応益割合の低い被保険者について、応益割合を高め、被保険者間の均衡を図ることが必要とされている。

このため低所得者の税負担の増に配慮し、中間所得者の保険税負担の軽減を図るため、応益負担割合が五〇%前後の被保険者を中心に低所得者に対する保険税軽減制度を段階的に拡充するための条例改正である。

## 議会日誌

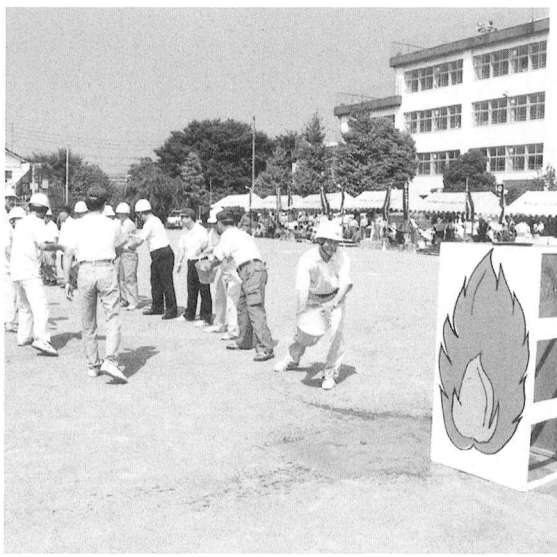
4月	6日	議会運営委員会
	11日	東京都市議会議長会4月臨時会
5月	10日	平成7年第2回臨時会
	23日	議会運営委員会
	24日	戦没者追悼式
	24日	東京都市議会議長会5月定例総会
	26日	交通安全推進委員会総会
	26日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会
	29日	三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会
	29日	多摩地域都市モノレール等促進協議会総会
	30日	JR五日市線複線化促進協議会
	30日	第48回東京都山の植樹祭
	31日	三多摩地区消防運営協議会通常総会
	31日	議会運営委員会
6月	1日	西多摩地区議定会定期会議
	6日	関東市議会議長会定期総会
	7日	平成7年第2回定例会(1日)
	8日	"(2日)
	9日	"(3日)
	12日	厚生委員会
	13日	建設委員会
	14日	総務委員会
	16日	議会運営委員会
	20日	平成7年第2回定例会(4日)
	21日	道路交通問題対策特別委員会
	22日	横田基地対策特別委員会及び同委員会防衛庁陳情
	28日	全国市議会議長会定期総会

# 一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。3、5面にその要旨を掲載しましたが、紙面の関係から一般質問項目のすべての掲載ができません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。

## 防災計画の見直しと

### 防災対策について



▲震災時の被災は、日頃の備えと、防災訓練で最小限に（昨年の一小での防災訓練）

**質問** ① 地域防災計画でいう避難所（耐火構造の二階以上の建物）数は、この耐震診断実施の考えは。また、各地域の防災計画、避難訓練の考えは。

② 大震災に備え、災害備蓄品を学校の空き教室に置くことはできないか。

③ 被災時に備え、学校給食センターに炊飯、自家発電、耐震給水等の設備を整備する考えは。

④ 災害対策に特定目的基金の創設の考えは。

**市長** ① 収容施設として一五カ所の施設を指定しており、市の財政を考慮しながら建設年次の古い順から耐震調査の実施の検討を進めたい。また、地域の特性に即した防災訓練を、総合防災訓練や自

能性の検討をしていきたい。

② 今定例会に推進委員会設置のための条例制定をお願いしている。また、庁内検討組織として推進本部を設置し、重要事項について所掌することとしている。

③ 事務処理の電算化の現状と今後の取り組みは。また住民票等の自動交付機の導入計画は。

**市長** ① 年間の業務量や事業別の事業本部設置による事務の煩雑さ、混乱の発生等の課題が考えられるため、可

② 六月度末では八八項目の電算化を図り、後期基本計画では約三五項目を予定している。自動交付機の導入は、七年度予算で切り換えに向けての作業にかかり、準備ができた次第実施したい。

## 横田基地の燃料漏れ 最終報告や防空演習について

**質問** ① 横田基地周辺五市一町が航空燃料漏れに関する最終報告を要請しているが、いまだに返答がなく、この間の経過と市長の見解は。

② 三月一日から一八日にかけて行われた防空演習に関する経過、抗議及びその結果は。

**市長** ① 五月一二日に五市一町に対し最終報告が日米合同委員会の環境文化委員会に提出された旨の報告があつ

たが、いまだに開示がないため、再々要請しており、もうしばらく時間が必要と考えている。

② 三月三日に演習中止要請を行ったが、結果として演習が実施されたことは遺憾である。この間における離着陸数は一二四回、最高騒音は一・二・三デシベルであり、三月二八日に結果をまとめ、再度中止要請を行った。

## 谷戸沢処分場など ごみ行政について

**質問** ① 第二処分場に対する環境団体からの差止め請求裁判の結果、債務の間接強制により原告側に一日一五万円ずつを支払うこととなったが、当市もその一員として参加しており、市長はこの決定にどのような形で参画し、どのように認識しているか。

**市長** ① 広域処分場ごみが搬入できない、また第二処分場の建設が遅れるということになると、組織団体ごみ最終処分は重大な影響を及ぼすこととなるので、当面は裁判の推移を見守りつつ、第二処分場建設については公害対策等に万全を期し、施設建設の早期実現のため努力していきたい。

## 七小校庭内に設置の 池と教育環境について

**質問** ① 第七小学校校庭付近の湧水を利用して設置される池について、規模と構想は。

② 現在工事進行中の下の川改修工事及び田園二八号線の一般市民等の災害時避難道路の完成予定と完成後の交通規制対策は。

**市長** ② 先月五日市街道下からひよどり坂までの区間の水路工事が完成し、田園二八号線の工事は平成八年から工事に着手し、完成は秋ごろを予定している。完成後は、車両の増加が予想されるので、地元説明会を開催し、警察署や横断歩道の設置、交通規制

を行うなど、児童・生徒、歩行者の安全確保を図っていただきたい。

**教育長** ① 自然の貴重な湧水を教材として教育の場に活用したいと学校から要望があったもので、規模はおお

## 牛浜児童遊園 改修整備の計画は



▲段差解消を図り、使いやすい公園に

むね幅四メートル、長さ三〇メートルで低学年用の水遊び場を確保し、生物等の観察もできる生きた教材として、学校の要望をできる限り取り入れた。

**質問** 前回の審議会での答申を受けて教育委員会でも検討していると思うが、現状と見直しについて伺いたい。

**教育長** 福生市独自の中学校給食の実施に向け、中学校長、PTA会長、教育委員、教育長、事務局の八名で構成する中学校給食問題懇談会を発足し、毎月一回程度の会議を開催する中で福生市の中学校にマッチした中学校給食の方向性を見出し、本年末あたりまでには結果を議会に報告し、八年度予算に何らかの形で反映させたいと考えている。

## 中学校給食の実現に 向けての その後の取り組みは

**質問** 前回の審議会での答申を受けて教育委員会でも検討していると思うが、現状と見直しについて伺いたい。

**教育長** 福生市独自の中学校給食の実施に向け、中学校長、PTA会長、教育委員、教育長、事務局の八名で構成する中学校給食問題懇談会を発足し、毎月一回程度の会議を開催する中で福生市の中学校にマッチした中学校給食の方向性を見出し、本年末あたりまでには結果を議会に報告し、八年度予算に何らかの形で反映させたいと考えている。



## 武蔵野台地域児童館・ 図書館の問題点は

**質問** 武蔵野台地域に児童館と図書館が建設されるが、併設の問題点、日照問題等、近隣住民を含め市民の意見、要望は反映されねばならないが、経過と今後の計画は。

**市長** 市民の意見等を参考に、また近隣への影響を配慮し所管課で協議検討、鉄筋コンクリート、三階建ての計画ができたが、五月に近隣住民から説明不足、日照時間、圧迫感などの心配点が出されている。当施設の必要性と実情を十分説明の上、建物建築に向け努力していきたい。

## 熊川分水の整備

### 水量の確保を

**質問** 貴重な文化的遺産である熊川分水も時代の変化とともにその使命も薄れ、路肩の石積みも一定ではなく、美観的にも良好といえない状態である。堀の整備と水量の確保により熊川分水を保存すべきと思う

**市長** 熊川地区の関係住民や町会等で清掃をしていただいており、水量は一日千トンとありますが、さらに水量の確保について都水道局へ働きかけていきたい。今後はより一層地域の方々の意識啓発を図り、保存方法を検討するた

め地元関係者、町会の方と迫感などの心配点が出されている。当施設の必要性と実情を十分説明の上、建物建築に向け努力していきたい。



▲在日米軍横田基地

# オープンする福祉センター 事業内容と運営は

**質問** 福祉センターはオープンに向けて諸準備が進められており、市民が大きな期待を持っている。高齢者、心身障害者などに対する各種事業の内容と運営方法、施設の管理等について伺いたい。

**市長** 六〇歳以上の高齢者を対象とした老人福祉センター事業、六五歳以上の虚弱及びねたき老人を対象とした



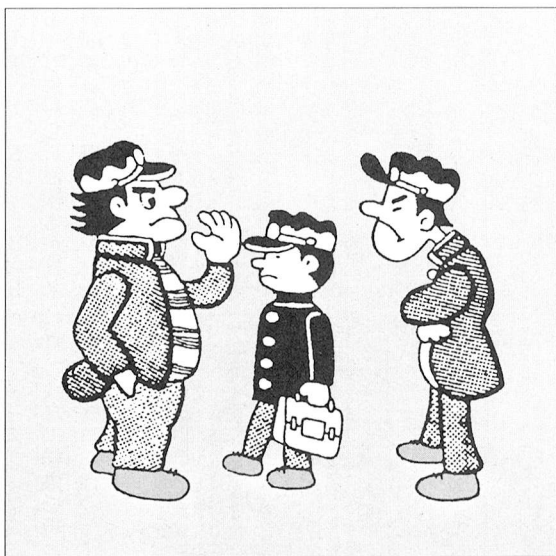
▲福祉センター  
(9月オープンにむけ諸準備が進められている)

# どの学校でも起こるいじめ その実態と対応は

**質問** 高校生の二人に一人がいじめられたことがあり、三人に一人がいじめを経験、また法務省人権擁護局による一九の中学校、一万三千人余の子供のアンケート調査で、いじめたことあり四三%、いじめられた三六%、いじめを見た五八%など今いじめはどの学校でも起こり得る広範囲な現象であり、いじめ問題克服のため、父母、教師、地域

の人々と力をあわせることが緊急に求められるが、市内小中学校でのいじめの実態とその対応はどうか。  
**教育長** 愛知県の中学生がいじめを苦に自殺した事件を契機に総点検をした結果、小学校で六件、中学校で二件のいじめの報告を受けたが、現在はすべて解決されている。いじめは学校教育の基本にかかわる重大問題であり、厳し

く受けとめている。児童・生徒の小さな変化、兆候、サインを見逃さず、的確な対応をし、都教育委員会とも連携、小中学校にいじめ防止指導の徹底通知、いじめ問題を抱える学校への指導主事の訪問、いじめ相談窓口の設置等に取り組んできている。



▲いじめ問題克服のためには、  
地域の人々との協力も大切

# 地域医療の福生病院の 今後の運営状況は

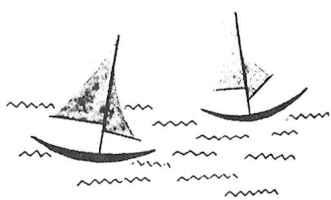
**質問** 福生病院は昨年になって正式に文書で二市一町で運営していただきたいという旨の要請があったようだが、当市としてはこの問題にどのように対処しているのか。  
**市長** 福生病院は公的病院として地域の医療に大きな役割を果たしていることから二市一町にとって欠くことのできない存在であり、移管の方向で連合会と協議を重ねているが、事態の推移によって、議会に協議していききたい。



▲地域の医療に大きな役割を果たしている福生病院

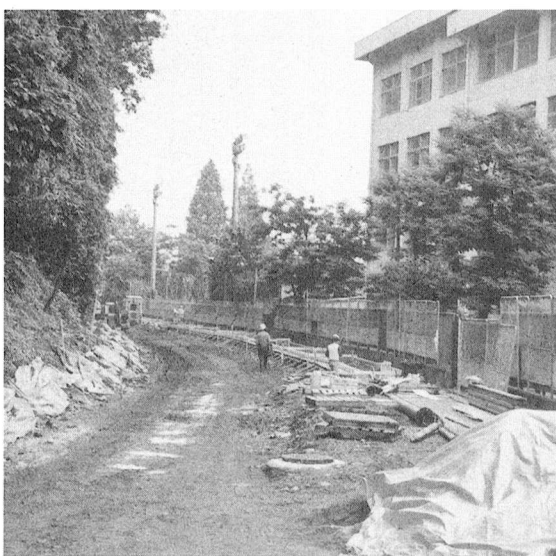
# 横田基地の 下水道料金 その後の動きは

**質問** ① 武蔵村山市に続いて昨年、市は関係機関に基



① ても時期を見て再度回答要請をしていきたい。

# 下の川改修後の道路整備 交通安全対策について



▲通過車両の増加に備え、交通安全対策を最優先に — 第七小学校沿い —

**質問** 下の川改修後に道路が整備されるが、田園通りの交通量が増加している中、そのパイパスとして朝の時間帯は特に通過車両の増加も考えられ、交通安全対策を最優先すべきではないか。地元住民の意見を聞くとか懇談会開催、田園通りの交通量調査など考えられるが、市はどのような対策を考えているのか。  
**市長** この改修道路は第七

# 一般質問項目

- 行政改革について
  - ①行政組織を機能別の組織に改めることについて(行政のスリム化を図る)
  - ②行政改革推進審議会の早期設置と行政改革推進のための庁内検討について
  - ③電算化による事務の迅速化と住民票等の自動交付機導入計画について
  - ④都市計画道路等の整備について
  - ⑤新奥多摩街道、JR五日市線踏切の立体交差部の地元要望と市、JR間の交渉状況について
  - ⑥陸橋通りの内出交差点から国道16号線間幅の地元との折衝状況及び買収着工見通しについて
  - ⑦通称南内出道路(市道262号線)の改良と交通規制の現状と今後の取り組みについて
  - ⑧災害対策と防災計画の見直しについて
  - ⑨応急避難場所となる公共建造物の耐震診断、耐力調査の実施について
  - ⑩市立小・中学校の防災機能向上と空き教室の災害用備蓄庫への転用について
  - ⑪市内地域の災害予想の設定と地域に即した防災計画と防災訓練の実施について
  - ⑫学校給食センターの被災時の活用について
  - ⑬被災基金の創設について
  - ⑭教育・文化活動及び体育・スポーツの振興について
  - ⑮生涯学習審議会の現況と生涯学習推進計画について
  - ⑯体育・スポーツ推進員制度の創設について
- 福祉行政について
  - 福祉センターの事業内容と運営について
  - 熊川分水について
  - 熊川分水の整備と水量の確保について
  - 健康づくり推進委員制度の創設について
- 公園の整備について
  - 牛浜児童遊園の改修計画について
  - 教育環境について
  - ①第七小学校の校庭内に設置される池について
  - ②下の川改修の道路(田28号線外)の工事着手と完成後の児童生徒の避難道路について
- 横田基地について
  - 自然環境と緑の保全について
  - ①下の川崖線の買収進捗状況について
  - ②多摩川の川底砂利のしゅんせつについて
  - ③樹木保全について
- 横田基地について
  - 燃料漏れの最終報告について
  - ①ADX'95(防空演習)について
  - ②94年度の騒音回数について
  - ③五日市の連絡体制について
  - ④基地カーニバルについて
  - ⑤ゴミ行政について
  - ⑥EM菌使用の処理について
  - ⑦三多摩広域処分場(谷戸沢処分場)について
  - ⑧市政への市民参加について
  - ⑨福生地域体育館運営の市民参加について
  - ⑩新設の児童館・図書館の計画について

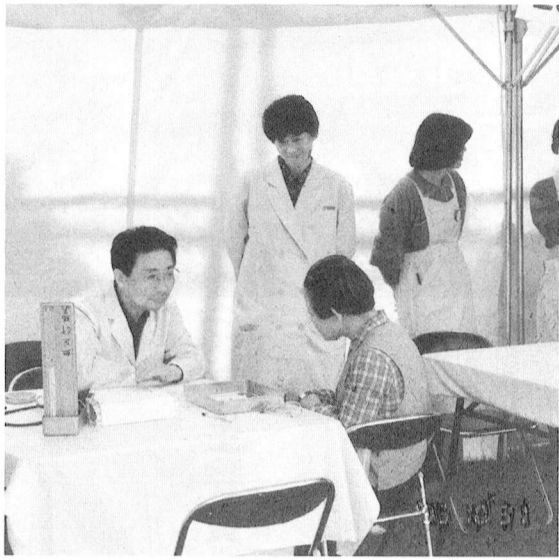
# 女性に多い骨粗しょう症

## 予防のための検査体制は

**質問** 人口の高齢化に伴い、寝たきり高齢者が増加し、医学的、社会的に大きな問題となっている中、高齢者が寝たきりになる主な原因の一つに骨がもろくなつて骨折しやすくなる骨粗しょう症が挙げられ、閉経期以降の女性に発生しやすいことから特に女性について早期からの予防対策が重要とされている。この骨粗しょう症の早期発見・予防に大きな力を発揮するのが骨密度測定器であるが、

① 市民の健康を守るため市は測定器のある病院で、補助金を出し測定を要望する市民の検査を実施する考えはないか。

② 平成五年度、六年度の予防対策の実施状況と、今年度の計画について伺いたい。



▲健康まつりでは「骨密度測定」「医療相談」等を開設

## 学校の給食費未納対策は

**質問** ① 市税や国保税の納入状況を見ると、給食費において未納額が一定割合の未納額が出るのは当然かと思うが、どのような対策を取っていくのか。

## 保育園等の砂場衛生面の管理状況はどうか



▲砂場は子供にとって恰好の遊び場。一つくし保育園の園児たち。

**質問** ① 平成六年六月議会の一一般質問で、抗菌性セラミック砂を市保育園の砂場に混入して幼児対策をすべしとの質問があったが、その後どのように研究されたのか。

② 砂場の大腸菌検査は実施されたか。また砂場の衛生管理状況等について市民に知らせるはどうか。

**市長** ① その後、団法人食品衛生協会に相談したところ、大腸菌は熱に弱いので、ときどき砂を掘り起こし直射日光に当てると死滅するとの指導を受け、その方法とあわせ熊手のような形の加熱処理器を使用、消毒液の散布

している。今後も砂場の検査をしていきたい。また利用者者に安心していただくための殺菌についてのPR方法も考えていきたい。

**都知事の交代 宇宙科学館の変化は**

**質問** 青島知事にかわつて二カ月がたつが、多摩地区に対する施策がまだ見えてこない。当市が抱える宇宙科学館

問題はその政策に変化があるのか。また都と関連する他施策においても変化はあるのか。

**市長** 青島知事にかわつたことによる宇宙科学館問題の先はまだ見えないが、担当部局としては他の施設とは進捗度が違うという認識のもと、十分念頭に置き取り組んでいきたいとのことである。また交付金、制度資金等の施策については変化は目下特段のものはないが、状況を見ていきたい。

## 建設中の民間特養老人ホーム ベッドの確保はできないか



▲地域社会に支えられた高齢者の諸施策が望まれる。市内の老人福祉施設で。

**質問** ① 現在、市内で二つの社会福祉法人が特別養護老人ホームの建設を進めているが、当市分のベッドの確保はできないか。またどのくらい確保できるのかお尋ねしたい。

**市長** ① 今後の高齢者対策の一環としてこの機会にぜひベッドの確保を図ってきたいので、現在施設設置者と協議を進めており、財政の許す限り努力したい。具体的

② 今年度予算にシルバーハウジングプロジェクト計画策定委託料三〇万円が計上され、また高齢者住宅を含む市営住宅建て替えの建設も始まるが、高齢者住宅に対する基本的考え方と予定されている高齢者住宅の内容について

地域に密着した健康づくりのための推進委員制度の創設について

○都市基盤の整備について

○福生駅西口駅前通り拡幅工事の現況について

○医療行政について

○福生病院の運営状況について

○市営斎場の建設について

○市民の要望の強い施設であり、今後の市の対応を聞きたい

○中学校給食について

既に答申も出されているが、その後の動きについて聞きたい

○福祉行政について

○福祉センターオープンに伴う施策の充実について

○公共施設の建設について

○武蔵野台地域児童館・図書館の建設について

○学校教育について

○学校教育について

○はじめの実態とその対応について

○横田基地について

○防空演習について

○燃料漏れの対策について

○基地下地友好祭について

○基地下水道料金について

○交通安全対策について

○下の川改修後の道路整備に伴う交通安全対策について

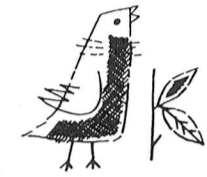
伺いたい。

**市長** ① 今後の高齢者対策の一環としてこの機会にぜひベッドの確保を図ってきたいので、現在施設設置者と協議を進めており、財政の許す限り努力したい。具体的

② 平成七、八年度事業で建設される第二市営住宅建て替え事業にあわせ、高齢者対応型の住宅を建設するため現在シルバーハウジングプロジェクト委員会を設置、検討し



# 一般質問 (要旨)





### 三常任委員会の審査から

今定例会では、常任委員会に議案三件と陳情八件が付託され、六月二日、三日、四日の三日間、厚生、建設・総務委員会の順で審査が行われました。ここでは各委員会に付託された議案とその主な質疑を掲載しました。

#### 厚生委員会

◆福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
問 ①条例改正による当市の負担増は。  
答 ①影響額は自己負担分

◆平成七年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)  
問 結核・精神医療給付金百十万円は実績によるものなのか。また見込み件数は。  
答 平成六年度の実績をもとに計算し、一月あたり一般分八一件、退職分で一九件で

#### 建設委員会

◆市道路線の認定について  
問 ①市道三二四号線の取り付け道路で市道八八号線の幅員は。  
答 ①認定幅員は二・四二メートルであるが、現況は四メートルである。

### 特別委員会 活動から

#### 横田基地対策 特別委員会

六月二日に開かれた委員会で、理事者側から①平成七年度横田飛行場提供施設整備実施計画②平成八年度防衛補助事業の要望③基地内航空機燃料漏れ④防空演習について、それぞれ説明がなされた。

#### 道路交通問題対策 特別委員会

市内の主要幹線道路の整備並びに鉄道交通システムの改善及び施設機能の整備拡充を図ることを目的に新たに設置された委員会(委員数十四名)が六月二日に開かれまし

#### 総務委員会

◆福生市行政改革推進委員会  
問 どんな点を諮問するか。  
答 財政運営、行政運営、管理運営を三本の柱として諮問をしたいと考える。

### 陳情

各委員会で審査された陳情の結果は、次のとおりです。

- ◆陳情第七二二号 五日市街道、多摩川堤の曲がり角  
◆陳情第七一四号 五日市街道、多摩川堤の曲がり角  
◆陳情第七一〇号 学校五日制実施に見合った「学習指導要領」の早期見直しを求める陳情書  
◆陳情第七一九号 「国会の不戦決議」を求める意見書提出についての陳情書

#### 訂正とお詫び

市議会だよりNo.108号第2面の「新議会議員の横顔」の中で誤りがありました。6番 清水議員の名前「新作」を「信作」に、訂正させていただきます。お詫びを申し上げます。

#### 議会を傍聴しましょう

##### 次回定例会は 6月6日からの予定です

本会議の傍聴はどなたでもできます。本会議場では、選挙によって市民の皆さんから選ばれた議員24人が、市政全般にわたる問題点についての一般質問や市長から提出された議案(条例・予算・決算・契約等)などについて、市民生活の向上を目指して真剣に審議をしている様子を見聞できます。

#### 編集後記

市議会だより第109号をお届けいたします。本号は平成7年6月定例会の予算を含む審議内容と結果、市政全般にわたる活発な一般質問の内容を中心編集いたしました。市議会だよりに対する皆さまのご意見をお寄せください。

#### 国へ補助事業を 要望

また、同委員会終了の後、東京防衛施設局へ向き平成八年度防衛補助事業等の要望書を提出しました。

◆中央排水区H-7その一工事請負契約  
問 予定価格を下回って入札した業者は何社か。

◆中央排水区H-7その一工事請負契約  
問 予定価格を下回って入札した業者は何社か。

◆議会運営委員会